

現行「丹沢大山保全計画」の方針と重点化の方向性

丹沢大山保全計画(1999-)

**■将来像**  
多様な生物を育む身近な大自然

**■計画の目標**  
丹沢大山の生物多様性の保全・再生

**■施策の基本方向**

- ①ブナ林や林床植生等の保全**  
劣化が進んでいるブナ林等の森林や、林床植生等を保全・再生
- ②大型動物個体群の保全**  
大型動物個体群の孤立化を防ぐ。特にニホンジカは、科学的な手法による個体群の管理を実施。
- ③希少動植物の保全**  
希少動植物の絶滅を防止する。現状把握と保全手法について調査。
- ④オーバーユース対策等**  
ごみやし尿等の対策。生物多様性に富んだ魅力ある自然公園の維持、自然景観の保全を図る。

**■施策を推進するにあたっての基本方針**

- 科学的な自然環境の管理
- 「生物多様性」の原則による管理
- 県民と行政との連携

**■計画の対象地域**  
丹沢大山国定公園、県立自然公園とその周辺。

**■計画の期間**  
1999年～2006年度

**■庁内実施体制の確立**

**2000年 自然環境保全センター設立**  
\* 5事務所の統合

- ・自然保護センター
- ・箱根自然公園管理事務所
- ・丹沢大山自然公園管理事務所
- ・森林研究所
- ・県有林事務所

\* 設置目的  
森林等の自然環境の保全再生に関する事業並びに丹沢大山保全計画の推進及び自然公園等の取り締まり等を行う。

(問題点) (施策の方向)

**■個別の取組みによる事業の散在化・連携の欠如**

- 事業効果の把握が困難
- 両輪的施策の不均衡

**■新たな取組みに向けた県民合意の不足**

- 目に見える形での成果の欠如

効率的な事業効果の発現に向けた事業の集中的実施

各種施策との整合・有機的連携を図るための施策ビジョンの構築

**丹沢大山 エリア**

**■3つの重点区域の設定**

- ①保全再生重点区域**
- ②県民連携重点区域**
- ③シカコリドー森林整備重点区域**

丹沢大山保全対策における2002年以降の取組み

**中津川エリア 保全再生重点区域**

**■重点区域における取組みの方向**

特別保護地区内の植生回復および多彩な森林づくりによる生態系保全環境収容力の増進とシカの保護管理の一体的推進による生物多様性の持続的な維持  
→生物多様性>植生回復・生態系環境収容力・シカ管理

**■具体的取組み**

- 1 特別保護地区の植生回復**
  - 植生保護柵の設置
  - ブナ林等衰退機構の解明
  - 崩壊地の復旧
- 2 生態系保全環境収容力の増進**

《県有林の整備》

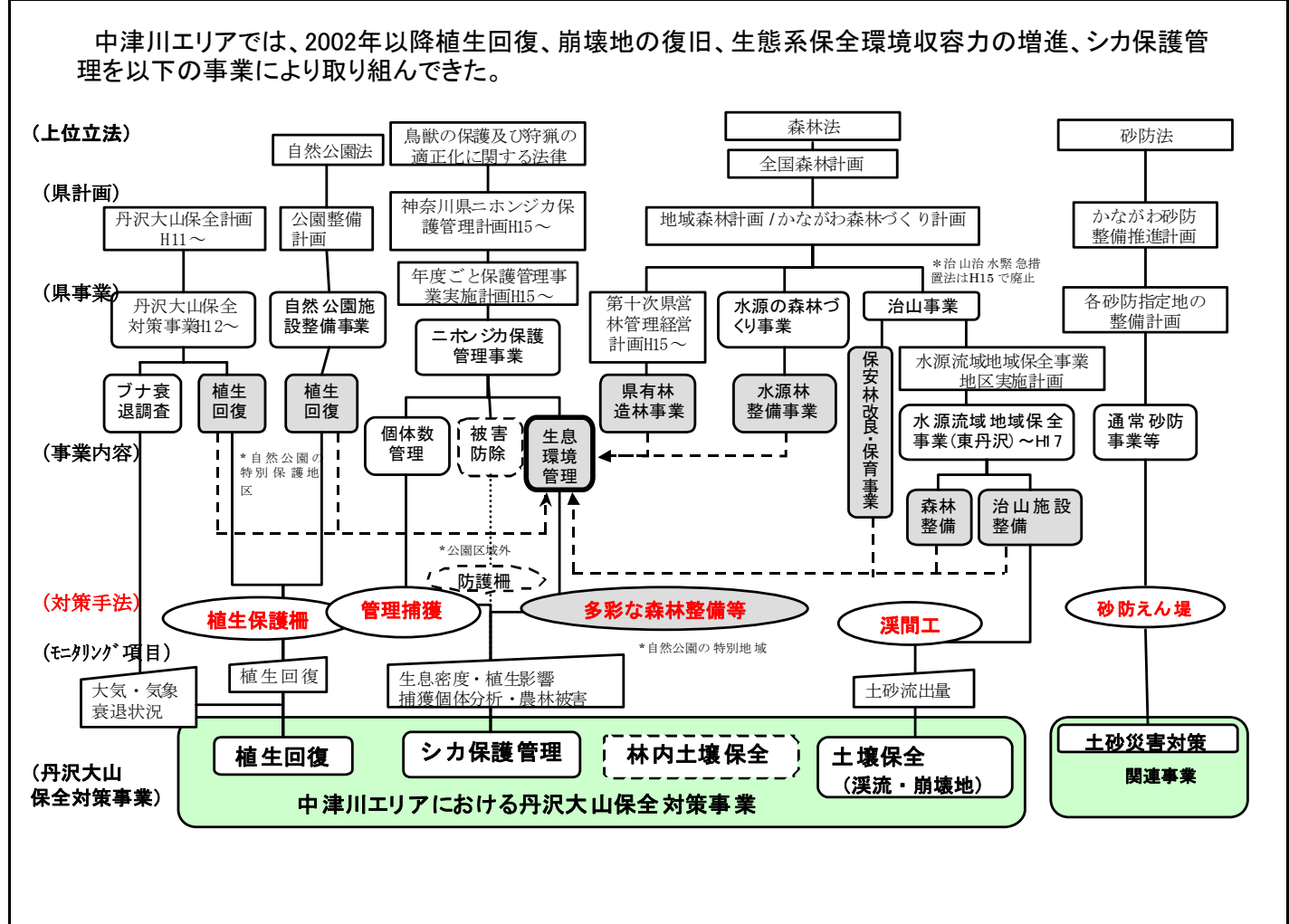
  - 人工林の混交林化・広葉樹林化等
  - 本数調整伐による林床植生の回復、複層林化等
  - シカ柵の開放、ツリーガードの設置

《水源の森林づくり》

  - 巨木林・混交林等整備
- 3 シカの保護管理**
  - 個体数管理



神奈川県が実施してきた丹沢大山保全対策事業(中津川エリア)



重点区域の位置図(詳細)

